

# 市長が飛び出す未来トーク

## 【 大垣市女性団体懇話会 】

と き / 令和4年1月11日（火） 11：00～12：15

ところ / 大垣市役所本庁舎4階・情報会議室

参加者 / 10人



### 1 内 容

市長あいさつ、大垣市女性団体懇話会・竹中会長あいさつの後、本市の施策方針・取組状況について説明を行い、その後、意見交換を行いました。

市長講演では、市未来ビジョンを軸とした市の施策の方針・取組状況について15分程度の講演を行った後、市長がサポーターとして参加している、内閣府男性家事参加促進キャンペーン「おとう飯」のPR映像を上映しました。

意見交換では、大垣市女性団体懇話会を構成する5団体の代表者から、団体活動の近況や課題などに関する発言があり、市長が、それぞれに対して思いを述べました。

閉会にあたり、市長が「それぞれの団体が明確な目的を持ち、多年にわたり活動を続けていらっしゃることに感謝申し上げます。今後も地域で活動される皆さんの声をお聴きし、大垣市未来ビジョン第2期基本計画に反映してまいりたい。」と述べました。

## 2 意見交換詳細

内容	団体側発言	市長発言
<p>① 大垣市女性連合会について</p>	<p>2月13日に地球にやさしい生活展と学習発表会の開催を計画中である。</p> <p>様々な活動を安易に中止するのではなく、各単位女性会においても知恵と工夫を出しコロナ禍における活動を実施している。</p> <p>学校評議員など各分野に携わる方々の男女比率について、数値的な部分が注目されがちだが、性別にこだわり過ぎるのではなく適任者であることが重要である。</p>	<p>ひと昔前は、女性の進出が難しい時代であり、審議会委員等の女性比率を目標設定するというのも方法のひとつであったと考える。</p> <p>各種委員の女性比率は今後も増えていくと思われるが、男性の目線のみ、女性の目線のみで施策を決めていくのではなく、いずれにしても特性に合わせて登用すべきである。</p> <p>団体活動における地区センター等の公共施設利用について、制限等がありご迷惑をおかけしている。今後も感染状況を注視しご協力をお願いしたい。</p> <p>各単位女性会について全校区に活動が広がることを期待する。市も協力させていただきたい。</p>
<p>② 大垣市生活学校について</p>	<p>「(公財) あしたの日本を創る協会」の下部組織として、長年ゴミ問題等の環境課題に取り組んでいる。</p> <p>最近、アニメで恐怖を感じる描写があった。こうしたメディアが子ども達に与える影響は大きく、健全育成のための課題と考えている。</p> <p>行事のつながりが希薄になっているが、声掛けができる地域づくりに取り組みたい。</p>	<p>青少年の健全育成を考える上で、落ち着いた社会の中で育つことが子どもの自律神経の正常なバランスを整える上で非常に重要であると聞く。</p> <p>過度で過激なメディアの情報は特に子どもへの影響が大きく、情緒不安定等になる恐れもあると思われる。</p> <p>ゴミ問題や食品ロスの課題については、今後もぜひ継続的に取り組んでいただきたい。</p>

内容	団体側発言	市長発言
③ 大垣市くらしのセミナーについて	<p>消費生活団体として、様々なテーマで講座を行っている。特に布ぞうり作り講習会は参加者の方に好評いただいている。</p> <p>最近では社会全体でSDGsも盛り上がっていると感じる。本団体においても、限りある資源の再利用に着目し、活動を行っていきたい。</p>	<p>市の消費生活キャンペーンでの連携をはじめ、日頃から消費者行政にご理解ご協力いただいていることに、感謝申し上げます。</p> <p>4月の成年年齢引き下げを目前に、18,19歳を中心とした若年層の消費者トラブルが懸念されている。今後、こうした層への消費者啓発についてもご尽力をお願いしたい。</p>
④ 大垣市食生活改善協議会について	<p>現在、協議会50周年記念事業を計画している。</p> <p>コロナ禍で市民に啓発の機会が少ない中、リモートによる食育推進事業など工夫を行っている。</p> <p>その他にも、かがやきライフタウン秋のつどいや減塩フェアなど、機を見て事業を行っている。</p>	<p>自分も野菜摂取量や血管年齢などを調べたことがある。それぞれが食生活から健康に注意する意識を持つことが大切である。</p> <p>保健センターと連携し様々な事業を実施していただき感謝するとともに、今後も継続していただけるよう願う。</p>
⑤ 大垣市赤十字奉仕団について	<p>防災研修、ひとり暮らし高齢者訪問、街頭献血など、コロナ禍ではあるが地域福祉の向上に資する活動は継続的に実施している。</p> <p>今後の課題として、共同募金の納入に際し、金融機関で手数料が必要になってきたことや、会員の高齢化が考えられる。</p>	<p>市民病院に対し、医療従事者への感謝を込めた千羽鶴をいただき、コロナ対策にもご尽力いただいている。</p> <p>共同募金の手数料については、回数を合わせて納める等の工夫が必要かもしれない。</p> <p>会員の高齢化や新たな会員の確保は、全ての市民団体の共通課題と言える。</p> <p>若い担い手確保が難しい時代だが、諦めるわけにはいかない。行政を通じて各団体の取り組みを発信していただきたい。</p>